



# KIMASSI

## KANAZAWA

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS

2007年12月

金沢問屋センターニュース

Vol.100  
December

理事長挨拶

祝辞

表彰

記念事業の披露

青年部将来ビジョン発表

祝賀会

各委員会の活動状況

第3回キマッシカナザワなつまつり開催

完成40周年記念社員旅行

第4期目を迎えた「金沢商人塾」



完成40周年の節目を迎えて

## 事務局だより INFORMATION

7月

- 5日 新入社員フォローアップ研修
- 12日 第2回キマッシカップ・ボウリング  
於 ルネス サンサーラス  
27社 49チーム参加 147名(男 93名 女 54名)  
優勝 櫻つくーるA  
準優勝 櫻オータニ  
第3位 櫻キヨー・エイB
- 17日 理事会
- 1. 総務委員会より  
(1) 景況調査について
- 2. 厚生委員会より  
(1) 第2回キマッシカップ・ボウリング結果報告  
(2) (協) 金沢問屋センター完成40周年記念  
社員旅行について
- 3. 組合運営委員会より  
(1) 金沢流通会館の修繕について  
(2) ガソリンの共同購入について
- 4. 事業戦略委員会より  
(1) 卸売業の経営革新のための交流会の開催  
(2) 広報誌の発行について
- 5. その他 (事務局より)  
(1) 事務局の夏季休日について  
(2) ビジネスマッチング事業について
- 30日～8月2日 生活習慣病予防健診[一般健診]  
38社 281名受診

8月

- 3日 理事会
- 1. 総務委員会より  
(1) 組合員の脱退について  
(2) 第1四半期の決算報告について
- 2. 厚生委員会より  
(1) (協) 金沢問屋センター完成40周年記念  
社員旅行
- 3. 組合運営委員会より  
(1) 会館利用促進のためのDMの発送について
- 4. 事業戦略委員会より  
(1) 北陸鉄道バス車内放送について  
(2) 広報誌第100号について  
(3) ホームページ利用者におけるWEBサー  
バの切り替えについて  
(4) 卸売業の経営革新のための交流会の開催
- 5. 事務局より  
(1) 「金沢商人塾」第2回例会について  
(2) 歩道の再整備について  
(3) 金沢副都心北部直江地区区画整理組合  
の造成工事について  
(4) 「割出8の橋」架橋工事について
- 5日 (協) 金沢問屋センター完成40周年記念社員旅行

●6日～9日

- 生活習慣病予防健診[付加健診] 14社 25名受診
- 生活習慣病予防健診[簡易ドック] 19社 80名受診
- 19日 第3回キマッシカナザワなつまつり
- 20日～22日 健康診断 60社 672名受診

9月

- 2日 第3回キマッシカップ・オープンゴルフ  
於 ゴルフ俱楽部 金沢リンクス  
22社 60名参加  
優勝 石山 外司郎  
丸与商事(株)  
準優勝 加藤 比呂志  
泰和ゴム興業(株)  
第3位 稲田 慎二  
北村電機産業(株)
- 4日 理事会



- 1. 総務委員会より  
(1) 金沢神社秋季例祭について  
(2) 運転資金特別融資について
- 2. 厚生委員会より  
(1) (協) 金沢問屋センター完成40周年記念  
社員旅行
- 2. 厚生委員会より  
(1) 第3回キマッシカップ・オープンゴルフ
- 3. 第33回商社対抗ソフトボール大会
- 4. (協) 金沢問屋センター完成40周年記念  
女性社員研修

●17日

- 第33回商社対抗ソフトボール大会  
於 金沢市営專光寺ソフトボール場(金沢市專光寺町)  
11社 12チーム参加  
優勝 富木医療器(株)A 2年連続4回目  
準優勝 (株)マルシン  
第3位 櫻つくーる  
第3位 北陸通信工業(株)



10月

- 4日 理事会
- 1. 厚生委員会より  
(1) 第33回商社対抗ソフトボール大会
- 2. 組合運営委員会より  
(1) 高速道路共同利用事業について  
(2) ガソリンの共同購入について  
(3) 紙ごみの回収について  
(4) ペットボトルの回収について  
(5) 町内一斉清掃について  
(6) 不燃物有料回収について
- 3. 事業戦略委員会より  
(1) 卸売業の経営革新のための交流会の開  
催について  
(2) 広報誌第100号について  
(3) ルーターの買換えについて
- 4. 問屋町交通安全対策協議会より  
(1) 問屋町内駐車状況について
- 5. 事務局より  
(1) 完成40周年記念式典・祝賀会スケジュー  
ル説明と理事の役割  
(2) 「金沢商人塾」第2回例会の結果と第3回  
例会について  
(3) 全国卸商業団地厚生年金基金の決算概  
要について  
(4) 商団連事務局長会議の報告
- 16日 町内一斉清掃
- 30日 不燃物有料回収

### 編集後記

去る10月26日(金)当センター完成40周年記念式典が日航ホテルに於いて約170名の出席のもと盛大に且つ厳かに挙行されました。

中国の先人の「井戸を掘った人に思いを馳せなさい」という言葉があります。当センターの来し方を思う時、何にもない田園風景の中に槌音響かせ造成工事が始まった事と思います。現在の隆盛を誰が予想し得たでしょうか。事ほど左様に物事を始めることは難しいと思います。私達は諸先輩に感謝しつつ将来の発展に向けて努力する事を肝に銘じなければならないと強く感じた次第です。

幸い逞しい青年部諸君の将来ビジョンの発表もあり厳しい環境下であります、発展に向けての責務が私達に課されている事を忘れる事なく、共に前進しようではありませんか。

(H・K)

# 記念式典

晴れやかに40周年  
記念式典が挙行される

協同組合金沢問屋センター

田村憲司理事、岡本進理事

一完成40年記念式典は10月26日午後4時30分よりホテル日航金沢4階「鶴の間」において、多数の来賓と出席のもと、組合員・関係者が約170名出席し挙行された。

式典開式まで、オーケストラアンサンブル金沢(OEK)による弦楽四重奏が会場に流れ、その後正面スクリーンにおいて金沢の伝統芸芸能が紹介された。続いて題目「祝三番叟」で一舞一管が行われ、開式となつた。

国歌斉唱に続いて、富木理事長が式辞を述べた。

このあと、物故組合員の追悼が行われ、OEKにより葬送曲が演奏されるなか、この10年間に亡くなられた組合員の方々の写真がスクリーンに投影され、最後に黙祷を捧げた。

続いて各表彰に移り、中小企業庁長官表彰が小川栄一副理事長に、独立法人中小企業基盤整備機構理事長表彰が丸岡信一理事、若林智雄理事、矢部謙男理事、黒梅吉英理事の4名に、全国卸商業団地協同組合連合会会長表彰が楠幸雄監事、

「完成40周年を迎えて」  
協同組合金沢問屋センター 理事長 富木 昭光



私ども、協同組合金沢問屋センターは、このたび、お陰さまで完成40周年を迎えることができました。これもひとえに組合員の皆様のご協力と、國や石川県そして金沢市をはじめ関係各社の絶大なご支援ご指導の賜物によるものと心より感謝申し上げます。

顧みれば、昭和37年3月、金沢駅前・武藏が辻を中心とする卸問屋の有志が、金沢駅西地区に新天地を求めて集団移転をすることとなり、昭和38年通産省から全国初の集団化事業の指定を受け、同年10月21日に120社で設立総会を行い、そして4年後の昭和42年10月14日には101社により問屋団地の完成式を挙行致しました。また同年1月18日に織維同業会が、2月2日に百貨同業会が相次いで発足致しました。

以上前から問屋無用論で「卸中抜き」がすんで今に問屋がなくなると言われ続け、厳しい状況が続いているが、それは問屋が卸さないという言葉があるように、私ども金沢問屋センターは設立当時と同数の組合員が、それぞれ各社の強みを活かして、頑張りぬいてまいりました。

私がすんで今に問屋がなくなると言われ続け、厳しい状況が続いているが、それは問屋が卸さないという言葉があるように、私ども金沢問屋センターは設立当時と同数の組合員が、それぞれ各社の強みを活かして、頑張りぬいてまいりました。

私がすんで今に問屋がなくなると言われ続け、厳しい状況が続いているが、それは問屋が卸さないという言葉があるように、私ども金沢問屋センターは設立当時と同数の組合員が、それぞれ各社の強みを活かして、頑張りぬいてまいりました。

私がすんで今に問屋がなくなると言われ続け、厳しい状況が続いているが、それは問屋が卸さないという言葉があるように、私ども金沢問屋センターは設立当時と同数の組合員が、それぞれ各社の強みを活かして、頑張りぬいてまいりました。

20世紀を迎えた今日、組合員個々の自助努力はもとより、経営体質の強化と更なる経営刷新が求められています。そのために当組合として組合員各社の幸せを求める組合運営を確実なものにしていきたいと考えております。

組合員各社の幸せを求める組合運営を確実なものにしていきたいと考えております。

組合員各社の幸せを求める組合運営を確実なものにしていきたいと考えております。

組合員各社の幸せを求める組合運営を確実なものにしていきたいと考えております。

また最近では、過去2年間にわたり「卸売業としてどのように変革していくべきか」という点で調査研究も行ってまいりました。今年はその研究成果をさらに効果的にものにするために、「経営革新のための交流会」を定期的に開催し、引き続き研究を重ねてあります。

さるに、今年度下期には青年部会でまいりました。

何卒、今後とも組合員各位の一層の協力と関係者各位のご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げ、「ご挨拶とさせていただきます。



# 来賓祝辞 谷本正憲石川県知事

(代理) 松岡孝流通・サービス産業課長



山出保金沢市長

完成40周年おめでとうございます。歴理事長並びに組合員の方々におかれています。これまでの組合運営に大変ご努力されており、皆様の結束力、団結力にはしばらくものがあります。

今年度においても、経営革新をスローガンに掲げられたり、交流会を開催されたり、また将来ビジョンを策定されるということです。そのほか、何よりも人づくりが大事だと「金沢商人塾」を開催されています。こういったご努力はこ

金沢問屋センターが40年の歴史を刻んできたことに改めてお祝い申し上げます。

金沢問屋センターは組合員数が119社と多く、全国でもら本の指に入る規模であります。また数だけではなく結束力が強いこと、問題意識を共有するスピード、そして共有したからには果敢に実行していくことも大きな特徴であります。この40年の間に起きたドルショック、オイルショック、バブルの崩壊といった大きな変動にも、その結果

本日ここに完成40周年記念式典が盛大に催されますことを心からお祝い申し上げます。

現下の国の経済状況は民間設備投資と輸出に支えられ、緩やかながらも長期にわたり回復を続けています。しかし、規模、業種、地域毎にこまかくみると、景況感にはらつきがあります。皆様の取引先である小売業においても販売額の減少や、ネット通販など新業態の進展等により経営環境は厳しく、流通業にとっては変革の時代となっています。また、中小企業にöttては多頻度小口納品の進展や、IT化の進展等、取引環境の変化、中間流通コスト削減の流れによる販売額の減少等、引き続き厳しい状況にあります。

先程、地域貢献といふことで学童野球支援の発表がありました。子供は社会の宝です。子供が伸び伸びと逞しく成長できる環境づくりは大変大事なことであり、良い企業の発展、事業再生を支援する企業の応援、起業・再起業を促進する人の応援の3つの応援を同時に推進し、卸売業をはじめとする

力の強さなどの特徴を活かし、乗組みでまいりました。

童野球支援の発表がありました。子供が伸び伸びと逞しく成長できる環境づくりは大変大事なことであり、良い企業の発展、事業再生を支援する企業の応援、起業・再起業を促進する人の応援の3つの応援を同時に推進し、卸売業をはじめとする

これからも続けていただきたいと思います。

今年度においても、経営革新をスローガンに掲げられたり、交流会を開催されたり、また将来ビジョンを策定されるということです。そのほか、何よりも人づくりが大事だと「金沢商人塾」を開催されています。こういったご努力はこ

れからも続けていただきたいと思います。

景気は少しずつ良くなって来ているとは言いますが、石油高、円高、世界的な株価の下落など様々なことがあります。

40年前と今では駅西地域も大きな変貌を遂げています。県庁も移

市長として、まちづくりに関わる仕事をしていると、やはり地域格差、税収格差が顕在化していることは大変気になりますし、これを解消しないかなければいけない

また、都市基盤の整備や経済政策も大切になつてまいります。金沢港の整備、コマツとその関連企業の立地環境の整備、来年の東海北陸自動車道の開通、また7年後には北陸新幹線の開通もございます。

こうした都市基盤の整備と経済政策、この2つで金沢を元気にし、鞭撻をいただきながら我々も頑張ろうと、こう思つております。知事のご

金沢問屋センターの組合員の皆さんにも頑張ってほしい、発展して

完成30周年記念の折には、変革実行委員会を作り、「キマッシャナセブ」のロゴマークと「ザワ」のロゴマークと「と

いたしまして魅せる「目とき街」のスローガンを掲げ、賛わいのある街づくりに努めてまいりました。

一方、団地完成後、3度にわたつて補完事業を実施してきました。

この間、様々な経済環境の変化に見舞われましたが、現在は119社の組合員が北陸を中心に活動し、今日に至つております。

私ども卸売業は、20年がすんで今に問屋がなくなる」とあります。「そうは問屋が卸さない」という言葉があるように、私ども金沢問屋センターは設立当時と同数の組合員が、それぞれ各社の強みを活かして、頑張りぬいてまいりました。

私がすんで今に問屋がなくなると言われ続け、厳しい状況が続いているが、それは問屋が卸さないという言葉があるように、私ども金沢問屋センターは設立当時と同数の組合員が、それぞれ各社の強みを活かして、頑張りぬいてまいりました。

私がすんで今に問屋がなくなると言われ続け、厳しい状況が続いているが、それは問屋が卸さないという言葉があるように、私ども金沢問屋センターは設立当時と同数の組合員が、それぞれ各社の強みを活かして、頑張りぬいてまいりました。

私がすんで今に問屋がなくなると言われ続け、厳しい状況が続いているが、それは問屋が卸さないという言葉があるように、私ども金沢問屋センターは設立当時と同数の組合員が、それぞれ各社の強みを活かして、頑張りぬいてまいりました。

また、当組合では「企業は人なり事業は徳なり」のもと、「中国古典パルスを利用して、組合員が一堂に会してお互いの事業資産を開示し、新たな事業展開を見出そうとするのです。

また、当組合では「企業は人なり事業は徳なり」のもと、「中国古典パルスを利用して、組合員が一堂に会してお互いの事業資産を開示し、新たな事業展開を見出そうとするのです。

提案の「ビジネスマッチング事業」も計画しております。当流通会館のセブで「金沢商人塾」を金沢市と金沢商工会議所の後援を得て開講しております。

現在は4期目を迎えており、金沢問屋センターのみならず広く地域に門戸を開放し、次世代の後継者や優秀な幹部を育て、また、優秀な人材が組合員の各社に就職していただけます。

当組合としては、次なる完成50周年には北陸新幹線の開通や金沢港湾再整備、海側環状線進捗等に伴うアセス向上で金沢の経済環境も大きく変化するものと考え、それに対応するために情報発信を続けております。

当組合としては、次なる完成50周年には北陸新幹線の開通や金沢港湾再整備、海側環状線進捗等に伴うアセス向上で金沢の経済環境も大きく変化するものと考え、それに対応するために情報発信を続けております。

また、当組合では「企業は人なり

# 学童野球支援



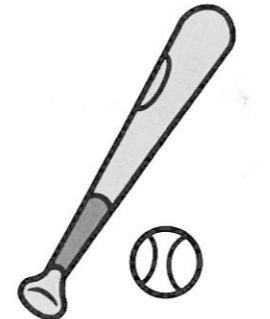
完成40周年記念事業として、これから日本を背負つて立つ、青少年の「心・技・体」の育成を担うという意味を込めて、石川県学童野球の新人戦を応援していくこととなつた。

石川県下の158の学童野球のチーム、約3,000人の野球少年が（協）金沢問屋センター杯の争奪戦を行い、来年の11月には小松ドームで決勝戦を開催する。

学童野球支援の内容は、平成20年から10年間にわたり毎年30万円を寄贈するほか、優勝旗、優勝力アップ、準優勝盾などを寄贈することになつた。

記念式典当日の記念事業の披露では、伊藤淳蔵記念事業委員長が事業の発表を行った後、学童野球部の試合シーンなどをスクリーンに投影した。続いて、「石川県学童野球連盟」理事長の大田重明氏、金沢市の学童野球チーム「鞍月ブラザーズ」の選手10名にステージに登場していただき、富木理事長より目録の贈呈、優勝旗の授与などを行った。最後に「鞍月ブラザーズ」のキャプテン・橋場康希君より小学生らしい元気なお礼の言葉があり、記念事業の披露を締めくくった。

# 記念事業の披露



## 感谢状

## 優良從業員表彰

# 全國卸商業團地協同組合連合會會長表彰

# 獨立行政法人中小企業 基盤整備機構理事長表彰

中小企業庁長官表彰

①青少年育成に貢献		酒井 雅夫	山本 芳弘	徳田 好彦
②地域社会に貢献		長瀬 輝雄	田中 好雄	多田与(株)
③環境保全に貢献		洞庭 守	(株)たなかや	(株)たなかや
④企業に貢献		荒木商事(株)	八田 芳徳	荒木商事(株)
		北陸通信工業(株)	富田 利朗	北陸通信工業(株)
		小川商事(株)	室井 尚子	木原 仁美
		(株)アイネックス	和典 健	坂野 敏夫
			秀秋 昭子	神田 敏夫
			重弘	坂野 神田



～物故組合員の追悼～ 完成30周年以降 29名

島	(株)会長	塔島 健治	平成10年2月4日	協同組合金沢問屋センター	元事務理事	金子 哲夫	平成15年5月31日
北陸衣料商会	会長	中村 外喜雄	〃 10年3月31日	イシワラ(株)	会長	田口辰秀	〃 15年10月13日
田ベビー	(株)会長	斎田 謙二	〃 10年12月22日	丸一商店	会長	黒梅 日吉	〃 16年1月4日
本	(株)会長	岡本 武雄	〃 11年2月8日	金沢シュランク	社長	林 實	〃 16年3月23日
倉	(株)会長	小倉 金松	〃 11年5月10日	小川商事	(株)会長	小川三郎	〃 17年3月8日
中嶋帽	子会長	中嶋 捨吉	〃 11年10月28日	成瀬電気工事	(株)会長	成瀬栄蔵	〃 17年4月29日
ケムラ	(株)会長	竹村 孝夫	〃 12年2月23日	糸生	(株)会長	小阪康生	〃 17年6月27日
恵商	店代表	坂川 栄一	〃 12年4月21日	㈱マルヨシトレーディング	会長	宮吉雄	〃 17年11月5日
アイネット	ス会長	伊藤 四郎	〃 12年7月29日	東和工業	(株)会長	南川善智	〃 18年2月20日
イドニ	一(株)会長	矢部 吉男	〃 12年8月3日	大坪商事	店主	大坪顕伸	〃 18年6月30日
上産業	(株)社長	川上 嘉一	〃 12年9月6日	㈱マツモト	社主	松本晴吉	〃 19年3月11日
コシハラ	会長	越原 哲郎	〃 12年10月15日	㈱丸昌	会長	来馬満春	〃 19年5月26日
橋爪商	会会長	橋爪 弥則	〃 12年12月1日	山村	(株)会長	山村敏英	〃 19年6月11日
江田	(株)会長	久江田 賢二	〃 14年10月30日	㈱たなか	や会長	田中清隆	〃 19年7月25日
相川	会長	相川 徳雄	〃 15年5月25日				

# 協同組合金沢問屋センター 完成40周年記念

## 青年部将来ビジョン発表

### 協同組合金沢問屋センター 青年部会

組合に、今求めるもの

将来ビジョンを構築するにあ  
たつて「組合員のみなさんが、  
組合に今“求めるものは何か?”

という討議をいたしました。様々  
な意見が出された中で、もっと  
も議論をされたのは「組合に加  
入しているメリット」。確かに、

組合設立当初は異業種ではあつ  
ても同じ志を持った企業の集ま  
りであり、組合のメリットを大  
いに共有・活用できたのだと思  
われますが、40年を経た今日では、  
各社の規模にも格差が生じ、形  
態も単に留まらなくなり、ただ  
でさえ異業種の集まりであるこ  
とからも、組合に求めるニーズ  
が多様化し、全ての組合員に等  
しくメリットを提供することが  
困難になってきたのです。

**ビジネスセンターとは**

我々の目指すビジネスセンタ

ーとは「組合員企業の個々の事

業を活性化させるビジネスセン

ターの機能」ということなので  
す。先にも申し上げたように、  
各社一齊に同じメリットを享受  
するということは、現状では非  
常に困難です。ならば、各社の  
個々の事業を活性化するために  
必要な機能を組合に貼り付けて  
いくことで、各社が必要に応じ  
てそれを活用できる、それが組  
合の新しいメリットの提供の手  
段である、これがビジネスセン  
ターという考え方なのです。

もし、金沢問屋センター全体

が一つの会社であつたら?とい  
うことをイメージしてみてくだ  
さい。組合員各社がそれぞれ営  
業部だつたり、生産・物流部だ  
つたり、あるいはサービスのセ  
クション、といった事業部隊で  
あるとすると、組合は総務や財  
務を請け負うセクションといつ  
た組織になります。ここにビジネ  
スセンターの機能が加わると、  
ビジネスセンターへ名称を変更する  
というものです。

このビジネスセンターといふ  
考えは、問屋センターからビジネ  
スセンターへ名称を変更する

というものです。

このビジネスセンターの具体的な  
機能とは、商品開発であつたり、  
デザイン開発であつたり、プラ  
ンド構築であつたり、ビジネス  
マッチングであつたりと、今後、  
各社が必要とする様々な機能を  
ビジネスセンターに設置してい  
きます。

こうして金沢問屋センターは  
「機能を高度化」し「未来価値を  
創造」する組合へと進化し続け  
ていくことができるのです。

「いつたセクションが社内に設け  
られ、それぞれの事業をサポー  
トするということになります。

### 最後に

山出金沢市長は我々青年部会  
の講師としておいでいただいた  
際、「こうおっしゃいました。」「金  
沢市は問屋セン

ターを応援して

います。そして、みんなを支援  
する用意はいつもありますよ  
と。しかし、この心強いお言葉  
には、但し書きがついていました。  
「但し、みんなが、手を挙げて、  
自分達はこういう事をしたいんだ、  
という意思を示していただきたい  
と。40年前、この問屋センターを  
設立された先人達は、確固たる  
意思を示し、行動されたからこそ、  
こんにちの問屋センターがある  
のだと思います。

「すべては組合員のみなさま  
のしあわせのために」

そしてこれからは、今を生きる  
我々が、問屋センターの新たな  
歴史を紡いでいかなければなり  
ません。そのためにも、偉大な  
先達にならい、まず手を挙げる  
ことから始めていこうではあり  
ませんか。そして青年部会は、  
ビジネスマッチング事業」では、  
組合員企業が相互の事業資産を  
掛け合わせることで、新たなる  
催すことが決定いたしました。  
「ビジネスの扉を開こう、という  
ものです。

組合に、今求めるもの  
将来ビジョンを構築するにあ  
たつて「組合員のみなさんが、  
組合に今“求めるものは何か?”

という討議をいたしました。様々  
な意見が出された中で、もっと  
も議論をされたのは「組合に加  
入しているメリット」。確かに、  
組合設立当初は異業種ではあつ  
ても同じ志を持った企業の集ま  
りであり、組合のメリットを大  
いに共有・活用できたのだと思  
われますが、40年を経た今日では、  
各社の規模にも格差が生じ、形  
態も単に留まらなくなり、ただ  
でさえ異業種の集まりであるこ  
とからも、組合に求めるニーズ  
が多様化し、全ての組合員に等  
しくメリットを提供することが  
困難になってきたのです。

**ビジネスセンターとは**

我々の目指すビジネスセンタ

ーとは「組合員企業の個々の事

業を活性化させるビジネスセン

ターの機能」ということなので  
す。先にも申し上げたように、  
各社一齊に同じメリットを享受  
するということは、現状では非  
常に困難です。ならば、各社の  
個々の事業を活性化するために  
必要な機能を組合に貼り付けて  
いくことで、各社が必要に応じ  
てそれを活用できる、それが組  
合の新しいメリットの提供の手  
段である、これがビジネスセン  
ターという考え方なのです。

もし、金沢問屋センター全体

が一つの会社であつたら?とい  
うことをイメージしてみてくだ  
さい。組合員各社がそれぞれ営  
業部だつたり、生産・物流部だ  
つたり、あるいはサービスのセ  
クション、といった事業部隊で  
あるとすると、組合は総務や財  
務を請け負うセクションといつ  
た組織になります。ここにビジネ  
スセンターの機能が加わると、  
ビジネスセンターへ名称を変更する  
というものです。

このビジネスセンターといふ  
考えは、問屋センターからビジネ  
スセンターへ名称を変更する

というものです。

このビジネスセンターの具体的な  
機能とは、商品開発であつたり、  
デザイン開発であつたり、プラ  
ンド構築であつたり、ビジネ  
スマッチングであつたりと、今後、  
各社が必要とする様々な機能を  
ビジネスセンターに設置してい  
きます。

こうして金沢問屋センターは  
「機能を高度化」し「未来価値を  
創造」する組合へと進化し続け  
ていくことができるのです。

「いつたセクションが社内に設け  
られ、それぞれの事業をサポー  
トするということになります。

「すべては組合員のみなさま  
のしあわせのために」

そしてこれからは、今を生きる  
我々が、問屋センターの新たな  
歴史を紡いでいかなければなり  
ません。そのためにも、偉大な  
先達にならい、まず手を挙げる  
ことから始めていこうではあり  
ませんか。そして青年部会は、  
ビジネスマッチング事業」では、  
組合員企業が相互の事業資産を  
掛け合わせることで、新たなる  
催すことが決定いたしました。  
「ビジネスの扉を開こう、という  
ものです。





## 厚生委員会

- ◆ 研修・厚生に係わる事項

(1) 経営者研修会等に関すること

(2) 社員の教育訓練の計画実施に関すること。

◆ 福利厚生に関すること。

◆ 労務環境に係わる事項

(1) 組合員各社の労働環境の改善に関すること。

(2) 組合員各社の就業規則、給与体系等の企画に関すること。

(3) 組合員各社の雇用促進に関すること。

◆ 最近の活動状況

◆ 完成40周年記念事業の一環として、8月5日(日)に社員旅行を実施した。

また11月下旬に、組合員企業に勤務する女性社員を対象にした研修会を「つる幸」で開催した。

◆ 新入社員研修会、電話教室、新入社員フォローアップ研修を実施。

◆ 福利厚生事業としてボウリング大会、ゴルフ大会、ソフトボール大会の開催

- ◆ 2ヶ月に1回、専門家による労務・経営相談を行っている。

◆ 経営者研修会、幹部社員研修会、労務管理講習会の実施。

**委員長コメント**

当委員会では、組合員及び社員の皆様に対しても、各社が発展成長していくための研修事業や、社員の皆様の勤労意欲が向上するような福利厚生事業を行つていい。組合が共同で行うということは、一社では出来ないことが出来るといつこと、また費用の負担が少なくて済むという大きなメリットがある。

業種業態が多様であること、各企業の格差が大きくなつたことにより、どのような事業をすれば良いか、事業の内容をどうすれば良いか、どうすれば多数の参加を頂けるかを念頭に委員会を運営している。各社が今必要としていることが何か、ニーズを探り、一人でも多くの方が参加される事業を企画していきたい。

A circular collage of five magazine covers for 'Kimassi' magazine, featuring various landscapes and the magazine's logo.



事業戰略委員会

- ◆事業に係わる事項

(1)全体事業の企画・推進に関すること。

(2)個別事業の立上げ支援に関すること。

(3)地域再開発・C-I戦略に関すること。

◆将来展望にもとづく調査・研究に係わる事項

(1)流通業界の環境変化に対応する調査、研究に関すること。

(2)広報誌等の発行に関すること。

(3)内外に対する広報活動に関すること。

◆最近の活動状況

◆平成15年から組合員の一IT化支援を目的に、k-i-massデータベースを運営。現在20社が利用している。顧客への商品提案や、社内での見積書などのデータの共有化などに活用されている。

昨年度までの2年間、中小企業活路開拓調査・実現化事業を実施した。今年度は、次の段階を踏み出すことを目指して、「卸売業の経営革新のための交流会」を2ヶ月に1度開催し、引き続き勉強を重ねている。

◆3. 広報に係わる事項

(1)広報誌等の発行に関すること。

(2)内外に対する広報活動に関すること。

委員長コメント

◆現在、年3回広報誌を発行している。今号は記念すべき第100号であり、完成40周年記念事業とも重なり、特大号として発行。

◆北陸鉄道バス交通事故防止キャンペーングラフィック協賛し、バス車内放送を実施。昨年度から当委員会オリジナルの『お父さん 飲んだらバスで帰ろうよ』の標語が採用され、現在も放送されている。

企業は環境適応業と言われるよう、市場に合わせて変化、適応、順応しないといけない。各社が自社のメイン（事業領域）を通じて、いかに環境変化に適応していくかを具体的にテーマとして検討していくのが当委員会である。

委員には職務の全うという意味で、毎回出席し意見を出してもらい、内容のある委員会にしたいと思っており、今後は、理事会方針、青年部会ビジョンに沿って、組合員が存続し続けるための活動に積極的に取り組んでいきたい。

# 各委員会の活動状況

現在、組合には4つの委員会が設けられています。  
それぞれの委員会組織規約と共に、最近の活動状況などをご紹介します。



## 總務委員会

## 組合運営委員会

1. 総務に係わる事項

(1) 総会、理事会、委員会、新年祝賀会、新入社員歓迎式等に関する連絡運営、記録に関すること。

(2) 定款、規定、規約に関すること。

(3) 組合員資産の保全に関すること。

- ◆ 最近の活動状況
  - ◆ 総会、理事会、新年互礼会、新入社員歓迎式の実施。
  - ◆ 景況調査を実施し、収集結果を組合員に報告している。
  - ◆ 健康診断の実施。

- (1) 地域、施設の建設・運営・管理に係わる事項

(2) 共同施設の建設、運営、管理に関する事じ。

- ◆ 高速道路共同利用事業（大口・多頻度割引制度）を実施している。今後、新たなE-TTCサービスの利用への切替えを予定しているほか、ガソリンの共同購入を現在検討している。



# 第3回「キマツシカナザワなつまつり」開催

平成19年8月19日、『キマツシカナ

ザワなつまつり』は第3回を迎えた本年も盛況の内に無事終了することができました。『来場のみなさまに御礼申し上げますと同時に、組合員および関係者のみなさまの『尽力に深く感謝を申し上げます。

●おもてなしの合言葉は、「問力」

「問力(とんりき)」とは、「問屋の活力」を略した造語です。このなつまつりは、「金沢問屋センターの活動力を内外に示す機会」であり、「周辺地域と組合員企業にお勤めのみなさまへの日頃の感謝のお祭り」です。そして我々青年部会は、なつまつりの企画・運営にあたって、とくに「感謝」に重きをおき、なつまつりを「おもてなし」の場と心得、「問力」の限りを注ぎ「真心」でお客様をお迎えしよう!と考えました。

●笑顔の約束

ご来場のみなさんに乗じていただきには、まず我々スタッフが樂しくなければいけない。だからスタッフのみなさんと「今日一日、笑顔でいてください」という笑顔の約束をしました。それが「みんなが樂しいなつまつり」の始まりの合図となつたのです。

●より楽しく、より参加しやすく  
なつまつりも3回目となると、毎年恒例の企画を楽しみにおいてになる方も多いいらっしゃいます。そんなみなさまにお応えするため、今回は恒例企画をより充実させることに重点をおきました。

●エコでクリーンななつまつり

今回のなつまつりは、エコロジーの観点から携帯灰皿を配布したり、ゴミの分別収集を徹底しました。特にゴミに関しては1時間おきにパトロールを実施し、終日クリーンななつまつりを実現することができました。

●ボランティアさん大活躍

今年も多くの組合員企業の社員のみなさんや学生のみなさんにボランティアとしてご協力いただきました。中でも、昨年の倍にあたる約50名の学生のみなさんは、我々の想像以上に積極的に手伝いいただき、その社会的な意識の高さに我々の方が驚かされました。願わくば、このなつまつりに参加した経験が、彼らの今後の社会生活に有益なものとなつて欲しいと

**小鉄砲大会**  
大人の部・負けても数試合楽しめる  
**親子工作広場**  
より多くの方が参加できるよう試合数を増やして時間を調整  
**アイスクリーム早食大会**  
より多くの方が参加できるよう試合数を増やして時間を調整  
**福引・大抽選会**  
組合員様のご協賛により賞品が質量とも大幅にグレードアップ等々、その他の企画においてもすべて、お客様がより楽しく、より参加しやすくなるよう改善をしました。

●笑顔の続く限り  
こうして、無事終了したなつまつりですが、まだ課題もありますし、もっともっと多くのみなさまの、特に社員のみなさまにご来場いただきたいと思っています。そのため、我々青年部会はこれからも組合と一緒に努力してまいりたいと思います。みなさまの笑顔が続く限り…。ありがとうございました。感謝。

思いますし、でかい事なら金沢問屋センターへのイメージを善きものと記憶に留めてもらえばと思いますが、これも欲張り、というより余計な事ですね。



県警音楽隊によるマーチングドリル演奏  
ゆったり楽しめるようになった親子工作広場

## 金沢問屋センター完成40周年 記念社員旅行

厚生委員会では、完成40周年の記念行事の一環として、問屋町納税貯蓄組合の協力を得て、8月5日(日)に組合員企業に勤務する社員と家族を対象にした日帰りバス旅行を実施しました。25社130名が参加、バス3台に分乗して、ナガシマリゾート(三重県桑名市長島町)を訪問しました。

朝6時に金沢を出発し、10時20分、一つ目の目的地の「なばなの里」に到着しました。園内で一番の見所である「ベゴニアガーデン」には世界各国から集めた数百種類、1万2千株の花が栽培されていました。大温室の中は絵画の中のような世界で、視野いっぱいに広がる花の美しさに心奪われました。

その後、「ナガシマスパーランド・湯あみの島・ジャズドリーム長島」へバスで移動し、12時過ぎから約4時間半、自由行動となりました。

遊園地で評判の絶叫コースターに乗る方、日本最大級の大自然露天風呂でゆっくりとする方、アウトレットショップでお値打ちのものを探す方と、各自思い思いの時間を楽しみました。その後、バスに揺られること4時間半、予定どおりの21時に金沢へ戻り、解散となりました。

# 「金沢商人塾」は好評のうちに第4期を迎えるました

～中国古典から経営の基礎を学ぶ～

「金沢商人塾」は平成16年7月10日、富木塾長の「組合員に経営の基礎を学んでもらい、繁栄して欲しい。また、社会貢献の一環として石川県下の企業経営者ならびに学生にも門戸を広げ、次世代の指導者として高い志を持ち、情熱と品位のある経営者を育成したい」との発案から開講されました。

「金沢商人塾」の特徴は、永続的に成長する会社をつくるために中商工会議所の後援を得て開催。1期毎の塾生の定員は30名、すでに90名の塾生が卒業しています。塾6回の講義を受けております。

主催は当組合で、金沢市と金沢商工会議所の後援を得て開催。1期毎の塾生の定員は30名、すでに90名の塾生が卒業しています。塾6回の講義を受けおります。

「金沢商人塾」の特徴は、永続的に成長する会社をつくるために中商工会議所の後援を得て開催。1期毎の塾生の定員は30名、すでに90名の塾生が卒業しています。塾6回の講義を受けおります。

生の構成は、当組合の組合員が1/3、組合員以外が2/3で、うち大学生が2~3人。企業の経営者と後継者が主体で、年齢は20~60歳台、業種は、各種卸売業、小売業、製造業、建設業、サービス業、警察官とさまざまです。塾生の中には、2回目の方、3期連続で受講されている方なども散見され、「金沢商人塾」の講義の内容が評価されたものと喜んでいます。

講師と講義内容を簡単に紹介いたします。  
4期続けて講師をお願いしているのは、杉山孝男先生と大塚徹先生です。

杉山孝男先生は、「中国古典から見た人間学と経営学」というテーマで、帝王学の一大名著といわれる「貞觀政要」「宋名臣言行錄」などの中から名句名言を用いて、人材育成や経営の要諦を丁寧に解説していただいております。

大塚徹先生には、「経営者・幹部としてのリーダーのあり方・統率学

としてのリーダーのあり方・統率学を「ご自分の波乱万丈の人生経験と、たくさんの企業への経営コンサルタントをされた中から実例を交えた迫力のある実践的な講義をいただいております。特に大塚先生の講義は、一泊二日の長時間となりますが、居眠りするものは一人もなく、また、先生を囲んでの会食は塾生から本音でそれの悩みなどが語られ、すばらしい異業種交流の場となつております。

ほかに特徴のある講師として、第3期のスポーツコメントーター

でおなじみの二宮清純さんは、「勝



大塚徹先生



孔健先生



杉山孝男先生